

2021年3月期 第1四半期 決算説明

三菱ケミカルホールディングス

2020年8月4日

2017年3月期 第1四半期よりIFRS (指定国際会計基準) を適用しております。

目次

<2021年3月期 第1四半期 連結決算>

・連結損益計算書	・・・	4
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益	・・・	5
・コア営業利益(全社) 増減要因	・・・	6
・事業セグメント別 業績概要	・・・	7
・非経常項目	・・・	11
・連結キャッシュ・フロー計算書	・・・	12
・連結財政状態計算書	・・・	13

<参考資料①>

・連結損益計算書 四半期別推移	・・・	15
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移	・・・	16
・各報告セグメントの事業部門	・・・	17

<参考資料② 田辺三菱製薬 決算概要>

・2020年度 第1四半期 決算概要	・・・	19
--------------------	-----	----

2021年3月期 第1四半期 連結決算

連結損益計算書

為替レート (¥/\$)	107.4	109.7	△ 2.3	△2%
ナフサ単価 (¥/kl)	25,000	45,400	△ 20,400	△45%

		(億円)			<参考>		
		21/3月期 1Q実績	20/3月期 1Q実績	増減	増減率	5/13発表 上期予想	進捗率
継続事業 *2	売上収益	7,227	9,164	△ 1,937	△21%	15,090	48%
	コア営業利益 *1	150	701	△ 551	△79%	250	60%
	非経常項目	87	△ 2	89		35	
	営業利益	237	699	△ 462	△66%	285	83%
	金融収益・費用	△ 33	△ 33	0		△ 105	
	(内、受取配当金)	(25)	(29)	(△ 4)		-	
	(内、為替差損益)	(0)	(△ 3)	(3)		-	
	税引前利益	204	666	△ 462		180	
	法人所得税	△ 122	△ 182	60		△ 70	
	継続事業からの四半期利益	82	484	△ 402		110	
非継続事業からの四半期利益	-	5	△ 5		0		
四半期利益	82	489	△ 407		110		
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	52	378	△ 326	△86%	0	-	
非支配持分に帰属する四半期利益	30	111	△ 81		110		
*1 内、持分法投資損益	2	50	△ 48				
*2 非継続事業に係る数値を控除しております。							

コア営業利益は、営業利益(又は損失)から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出しております。

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

		(億円)			<参考>	新型コロナ影響 (概算)
		21/3月期 1Q実績	20/3月期 1Q実績	増減	5/13発表 上期予想	21/3月期 1Q実績
全社	売上収益	7,227	9,164	△ 1,937	15,090	
	コア営業利益	150	701	△ 551	250	△ 382
機能部材	売上収益	1,427	1,718	△ 291	2,900	
	コア営業利益	87	126	△ 39	80	△ 69
機能化学	売上収益	825	1,048	△ 223	1,870	
	コア営業利益	13	69	△ 56	△ 10	△ 63
機能商品	売上収益	2,252	2,766	△ 514	4,770	
	コア営業利益	100	195	△ 95	70	△ 132
MMA	売上収益	525	777	△ 252	1,110	
	コア営業利益	△ 12	138	△ 150	60	△ 59
石化	売上収益	842	1,347	△ 505	1,610	
	コア営業利益	△ 136	8	△ 144	△ 190	△ 104
炭素	売上収益	444	717	△ 273	950	
	コア営業利益	△ 13	60	△ 73	10	△ 31
ケミカルズ	売上収益	1,811	2,841	△ 1,030	3,670	
	コア営業利益	△ 161	206	△ 367	△ 120	△ 194
産業ガス	売上収益	1,829	2,086	△ 257	3,960	
	コア営業利益	135	211	△ 76	340	△ 83
ヘルスケア	売上収益	1,002	1,079	△ 77	1,860	
	コア営業利益	88	93	△ 5	10	27
その他	売上収益	333	392	△ 59	830	
	コア営業利益	△ 12	△ 4	△ 8	△ 50	0
【受払差】						
	機能化学	△ 5	△ 7	2		
	石化	△ 143	9	△ 152		
	炭素	△ 5	0	△ 5		
	合計	△ 153	2	△ 155		

*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

*2 21/3月期より、三菱ケミカルにおいて、一部の事業及び連結子会社の所管セグメントを見直しております。これに伴い、比較情報としての20/3月期実績を組み替えております。

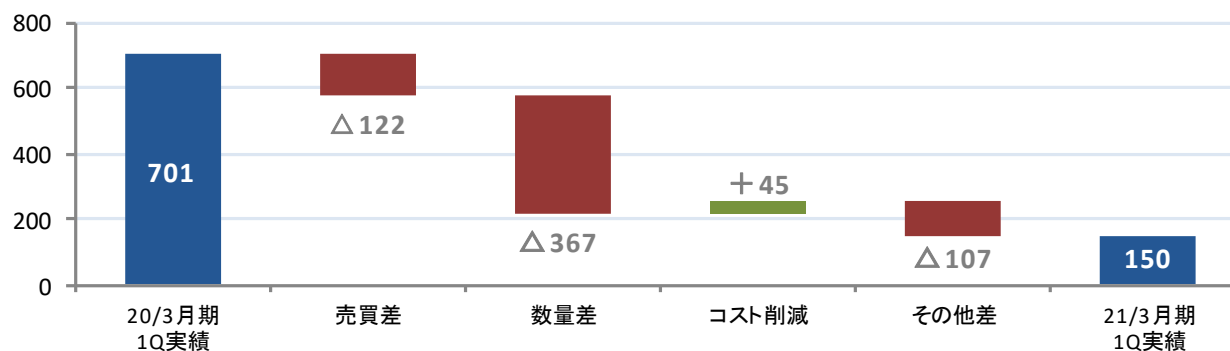
コア営業利益 (全社) 増減要因

(億円)

	21/3月期 1Q実績	20/3月期 1Q実績	増減	増減要因			
				売買差	数量差	コスト削減	その他差 *1
全社	150	701	△ 551	△ 122	△ 367	45	△ 107
機能商品	100	195	△ 95	0	△ 145	16	34
ケミカルズ	△ 161	206	△ 367	△ 103	△ 93	3	△ 174
産業ガス	135	211	△ 76	6	△ 75	1	△ 8
ヘルスケア	88	93	△ 5	△ 30	△ 51	25	51
その他	△ 12	△ 4	△ 8	5	△ 3	0	△ 10

*1 その他差には、受払差・持分法投資損益差等の金額が含まれております。

為替影響	△ 9	△ 12	△ 1	-	4
うち換算差		△ 7			

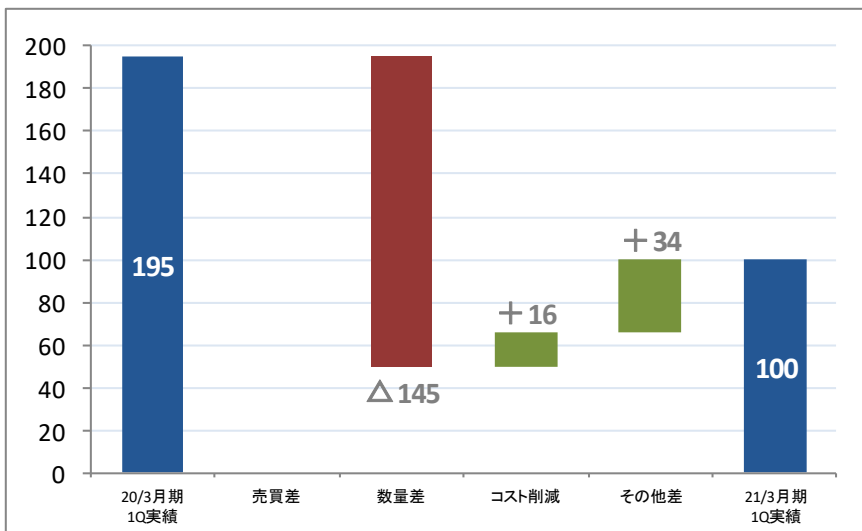


機能商品セグメントの業績概要

(億円)

		21/3月期 1Q実績	20/3月期 1Q実績	増減
機能部材	売上収益	1,427	1,718	△ 291
	コア営業利益	87	126	△ 39
機能化学	売上収益	825	1,048	△ 223
	コア営業利益	13	69	△ 56
機能商品	売上収益	2,252	2,766	△ 514
	コア営業利益	100	195	△ 95

＜コア営業利益 増減要因＞



＜セグメント内識別 業績概要＞

機能部材	売上収益	自動車用途を中心に需要が低迷し、高機能エンジニアリングプラスチック等の販売数量が減少。
	コア営業利益	高機能エンジニアリングプラスチック等の販売数量の減少等により減益。
機能化学	売上収益	機能性樹脂をはじめとして、総じて自動車向けの販売数量が減少したことに加え、フェノール・ポリカーボネートチェーンにおいて定期修理の影響により販売数量が減少。
	コア営業利益	機能性樹脂やフェノール・ポリカーボネートチェーン等の販売数量の減少等により減益。

＜トピックス＞

- 三菱ケミカル社は、コンタクトレンズ原料や抗菌剤などのケイ素化合物、半導体プリカーサー等に用いられる金属化合物等の領域において、高度な分子設計・合成技術を保有するGelest社を買収することを2020年4月に決定。同社の広範な知見と、三菱ケミカル社の技術、経営資源、顧客ネットワーク等を組み合わせることで、提供可能なソリューションの大幅な拡充を目指し、本年中を目途に同社の全株式を取得する予定。

新型コロナウイルス感染症の概算影響

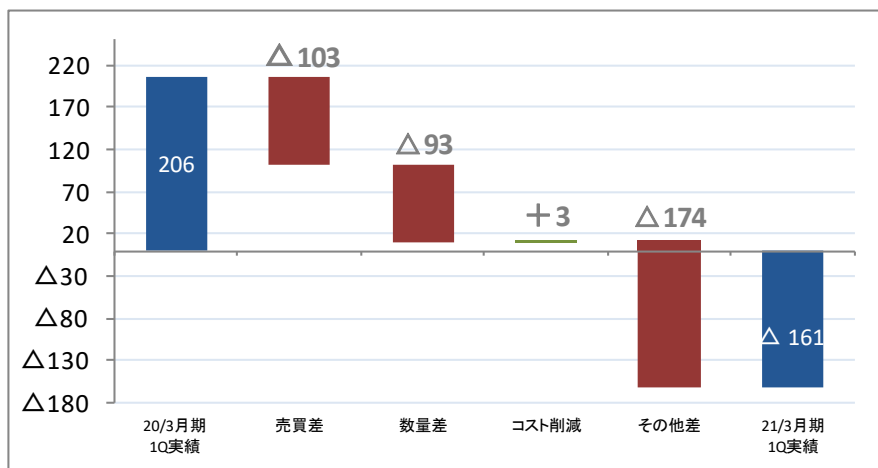
▲132億円（機能部材▲69億円 機能化学▲63億円）

ケミカルズセグメントの業績概要

(億円)

		21/3月期 1Q実績	20/3月期 1Q実績	増減
MMA	売上収益	525	777	△ 252
	コア営業利益	△ 12	138	△ 150
石化	売上収益	842	1,347	△ 505
	コア営業利益	△ 136	8	△ 144
炭素	売上収益	444	717	△ 273
	コア営業利益	△ 13	60	△ 73
ケミカルズ	売上収益	1,811	2,841	△ 1,030
	コア営業利益	△ 161	206	△ 367

＜コア営業利益 増減要因＞



＜セグメント内識別 業績概要＞

MMA	売上収益	需要が弱含んで推移する中、MMAモノマー等の市況が下落したことにより減収。
	コア営業利益	市況下落に伴う原料と製品の価格差縮小等により減益。
石化	売上収益	エチレンセンターの定期修理の影響が拡大したことにより販売数量が減少したことに加え、原料価格の下落等に伴い販売価格が低下。
	コア営業利益	定期修理の影響拡大及び原料価格下落に伴う受払差損等により減益。
炭素	売上収益	原料価格の下落等に伴う販売価格の低下及びコークス等の需要減退に伴う販売数量の減少により減収。
	コア営業利益	輸出コークス等の原料と製品の価格差縮小等により減益。

新型コロナウイルス感染症の概算影響

▲194億円 (MMA ▲59億円 石化 ▲104億円 炭素 ▲31億円)

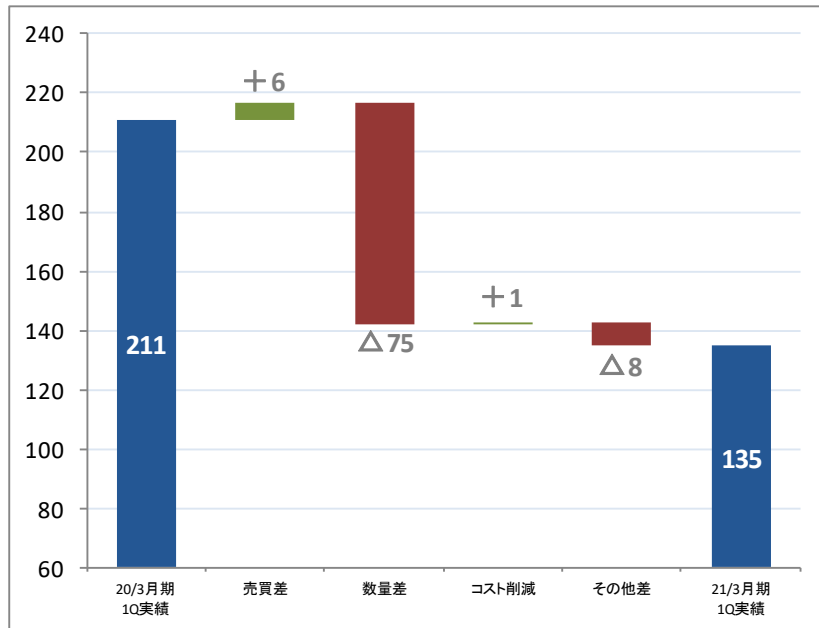
産業ガスセグメントの業績概要

		(億円)		
		21/3月期 1Q実績	20/3月期 1Q実績	増減
産業ガス	売上収益	1,829	2,086	△ 257
	コア営業利益	135	211	△ 76

＜セグメント内識別 業績概要＞

産業 ガス	売上収益	エレクトロニクス関連向けガスが堅調に推移したものの、国内外の需要が総じて減退したことにより減収。
	コア営業利益	国内外の需要が総じて減退したこと等により減益。

＜コア営業利益 増減要因＞



新型コロナウイルス感染症の概算影響 ▲83億円

ヘルスケアセグメントの業績概要

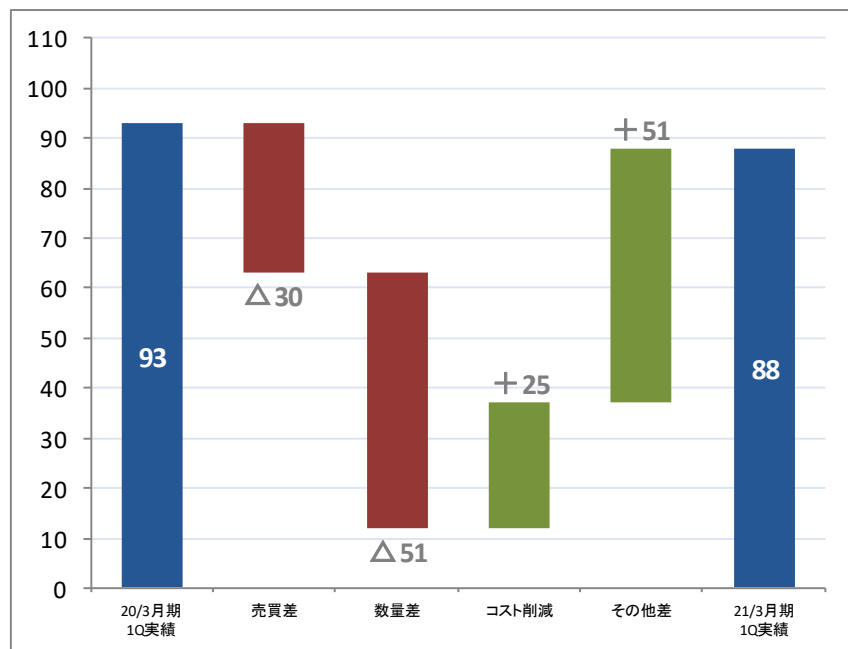
(億円)

		21/3月期 1Q実績	20/3月期 1Q実績	増減
ヘルスケア	売上収益	1,002	1,079	△ 77
	コア営業利益	88	93	△ 5

＜セグメント内識別 業績概要＞

ヘルスケア	売上収益	薬価改定等の影響による国内医療用医薬品の減少等により減収。
	コア営業利益	薬価改定等の影響による国内医療用医薬品の減少等があったものの、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動自粛等による販売費や研究開発費の使用抑制により前年同期並み。

＜コア営業利益 増減要因＞



注) 多発性硬化症治療剤「ジレニア」のロイヤリティ収入については、2019年2月に仲裁手続きに入ったため、IFRSの収益認識基準に従いロイヤリティ収入の一部について売上収益の認識を行っておりません。

新型コロナウイルス感染症の概算影響 +27億円

非経常項目

(億円)

	21/3月期 1Q実績	20/3月期 1Q実績	増減
非経常項目 合計	87	△ 2	89
固定資産売却益	81	9	72
関係会社株式売却益	9	4	5
固定資産除売却損	△ 2	△ 6	4
減損損失	△ 0	△ 7	7
その他	△ 1	△ 2	1

【セグメント別内訳】

機能商品	8	2	6
ケミカルズ	△ 0	0	△ 0
産業ガス	-	△ 6	6
ヘルスケア	81	△ 0	81
その他	△ 2	2	△ 4

連結キャッシュ・フロー計算書

財務諸表ベース

	21/3月期 1Q実績	20/3月期 1Q実績
営業活動によるCF	701	1,037
税前損益	204	673
減価償却費	596	596
営業債権債務	144	222
棚卸資産	126	△ 52
その他	△ 369	△ 402
投資活動によるCF	227	△ 473
設備投資	△ 605	△ 560
資産売却	146	28
投融資 他	686	59
FCF	928	564
財務活動によるCF	723	△ 1,091
有利子負債	1,904	△ 644
子会社株式追加取得	* 2 △ 958	△ 14
配当 他	△ 223	△ 433
現金及び現金同等物の増減	1,651	△ 527
為替換算差等	3	△ 93
現金及び現金同等物期首残高	2,282	3,215
現金及び現金同等物期末残高	3,936	2,595

* 1 実質ベース

(億円)

21/3月期 1Q実績	20/3月期 1Q実績
701	1,037
204	673
596	596
144	222
126	△ 52
△ 369	△ 402
△ 473	△ 574
△ 605	△ 560
146	28
△ 14	△ 42
228	463

* 1 実質ベースの連結キャッシュ・フロー計算書は、説明を目的として投資活動CFに含まれる手元運用資金の影響を除いたものです。

* 2 田辺三菱製薬株式の追加取得△954億円

連結財政状態計算書

	(億円)		
	20/6月末	20/3月末	増減
現金及び現金同等物	3,936	2,282	1,654
営業債権	6,214	6,985	△ 771
棚卸資産	5,947	6,065	△ 118
その他	1,371	2,161	△ 790
流動資産合計	17,468	17,493	△ 25
固定資産	22,571	22,528	43
のれん	6,232	6,168	64
投融資等	5,076	5,132	△ 56
非流動資産合計	33,879	33,828	51
資産合計	51,347	51,321	26

	(億円)		
	20/6月末	20/3月末	増減
有利子負債	25,876	23,881	1,995
営業債務	3,348	3,981	△ 633
その他	7,651	8,951	△ 1,300
負債合計	36,875	36,813	62
資本金・剰余金等	12,321	12,345	△ 24
その他の資本の構成要素	△ 666	△ 643	△ 23
親会社の所有者に帰属する持分	11,655	11,702	△ 47
非支配持分	2,817	2,806	11
資本合計	14,472	14,508	△ 36
負債・資本合計	51,347	51,321	26

ネット有利子負債 *1	21,940	20,899	1,041
ネットD/Eレシオ	1.88	1.79	0.09
親会社所有者帰属持分比率	22.7%	22.8%	△0.1%
ROE *2	-	4.2%	-

*1 ネット有利子負債(20/6月末)

=有利子負債25,876億円-(現金・現金同等物3,936億円+手元運用資金残高0億円)

注) 有利子負債はリース負債を含む

*2 親会社所有者帰属持分当期利益率

参考資料①

連結損益計算書 四半期別推移

為替レート (¥/\$)	109.7	107.7	109.3	109.1	107.4
ナフサ単価 (¥/kl)	45,400	40,200	41,300	44,800	25,000

(億円)

	20/3月期				21/3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
継続事業 *2	売上収益	9,164	9,113	9,031	8,497	7,227
	コア営業利益 *1	701	607	502	138	150
	非経常項目	△ 2	0	△ 202	△ 301	87
	営業利益	699	607	300	△ 163	237
	金融収益・費用	△ 33	△ 49	△ 77	△ 64	△ 33
	(内、受取配当金)	(29)	(1)	(11)	(1)	(25)
	(内、為替差損益)	(△ 3)	(7)	(△ 28)	(△ 13)	(0)
	税引前利益	666	558	223	△ 227	204
	法人所得税	△ 182	△ 194	△ 157	10	△ 122
	継続事業からの当期利益	484	364	66	△ 217	82
非継続事業からの当期利益	5	164	-	-	-	
当期利益	489	528	66	△ 217	82	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	378	435	△ 50	△ 222	52	
非支配持分に帰属する当期利益	111	93	116	5	30	

*1 内、持分法投資損益 50 31 26 27 2

*2 非継続事業に係る数値を控除しております。

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移

		20/3月期				21/3月期	新型コロナ影響(概算)	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	20/3月期 4Q	21/3月期 1Q
						(億円)		
全社	売上収益	9,164	9,113	9,031	8,497	7,227		
	コア営業利益	701	607	502	138	150	△ 78	△ 382
機能部材	売上収益	1,718	1,754	1,723	1,609	1,427		
	コア営業利益	126	139	90	40	87	△ 7	△ 69
機能化学	売上収益	1,048	1,051	1,043	1,035	825		
	コア営業利益	69	72	51	44	13	△ 11	△ 63
機能商品	売上収益	2,766	2,805	2,766	2,644	2,252		
	コア営業利益	195	211	141	84	100	△ 18	△ 132
MMA	売上収益	777	721	592	535	525		
	コア営業利益	138	114	5	△ 19	△ 12	△ 29	△ 59
石化	売上収益	1,347	1,371	1,373	1,253	842		
	コア営業利益	8	10	10	△ 49	△ 136	△ 22	△ 104
炭素	売上収益	717	638	622	489	444		
	コア営業利益	60	29	10	△ 18	△ 13	△ 9	△ 31
ケミカルズ	売上収益	2,841	2,730	2,587	2,277	1,811		
	コア営業利益	206	153	25	△ 86	△ 161	△ 60	△ 194
産業ガス	売上収益	2,086	2,109	2,088	2,150	1,829		
	コア営業利益	211	232	222	215	135		△ 83
ヘルスケア	売上収益	1,079	974	1,166	912	1,002		
	コア営業利益	93	5	110	△ 62	88		27
その他	売上収益	392	495	424	514	333		
	コア営業利益	△ 4	6	4	△ 13	△ 12		0

*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

*2 21/3月期より、三菱ケミカルにおいて、一部の事業及び連結子会社の所管セグメントを見直しております。
これに伴い、比較情報としての20/3月期実績を組み替えております。

各報告セグメントの事業部門

分野	セグメント	セグメント内訳		
			事業内容	
機能商品	機能商品	機能部材	情電・ディスプレイ	光学フィルム、ディスプレイ・半導体関連製品
			高機能フィルム	包装フィルム、工業フィルム
			環境・生活ソリューション	アクア・分離ソリューション、インフラ・アグリマテリアルズ
			高機能成形材料	高機能エンジニアリングプラスチック、繊維、炭素繊維複合材料、機能成形複合材、アルミナ繊維・軽金属
		機能化学	高機能ポリマー	パフォーマンスポリマーズ、エンジニアリングポリマーズ、サステイナブルリソース
			高機能化学	機能化学品、機能材料、食品機能材
			新エネルギー	リチウムイオン電池材料、エネルギー変換部材
素材	ケミカルズ	MMA	MMA	MMA
		石化	石化	石化基盤、ポリオレフィン、基礎化学品
		炭素	炭素	炭素
	産業ガス	産業ガス	産業ガス	産業ガス
ヘルスケア	ヘルスケア	ヘルスケア	医薬品	医薬品
			ライフサイエンス	ライフサイエンス

参考資料②

(田辺三菱製薬 決算概要)

田辺三菱製薬株式会社



田辺三菱製薬

2020年度第1四半期 決算概要

(2020年4月1日～2020年6月30日)

2020年8月4日

2020年度第1四半期 決算概要

	2020年度 第1四半期	前年同期比較			予想比較	
		2019年度 第1四半期	増減額	増減率	通期予想 ^{*1}	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上収益	918	981	△ 63	△ 6.5	3,835	23.9
国内	757	808	△ 50	△ 6.2	3,141	24.1
海外	161	174	△ 13	△ 7.5	694	23.1
海外売上比率	17.5%	17.7%			18.1%	
売上原価	456	448	+ 8	+ 1.8	1,875	24.3
売上原価率	49.7%	45.6%			48.9%	
売上総利益	462	533	△ 72	△ 13.4	1,960	23.6
販管費等	366	436	△ 70	△ 16.0	1,860	19.7
内、研究開発費	153	199	△ 46	△ 23.3	835	18.3
コア営業利益	96	98	△ 2	△ 1.8	100	95.8
非経常項目 ^{*2}	81	△ 1	+ 82	-	70	115.6
営業利益	177	96	+ 80	+ 83.6	170	103.9
金融損益 ^{*2}	2	△ 4	+ 6	-		
当期利益（親会社帰属）	115	69	+ 46	+ 67.1	85	135.3
期中平均レート（米ドル）	107.38円	109.67円			108.00円	

*1 2020年5月13日公表

*2 費用・損失の場合に△と表示

	2020年度 第1四半期	前年同期比較			予想比較	
		2019年度 第1四半期	増減額	増減率	通期予想*	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
国内医療用医薬品	733	782	△ 49	△ 6.2	3,036	24.1
重点品	453	465	△ 12	△ 2.5	1,823	24.9
ワクチン	75	73	+ 2	+ 3.0	410	18.3
長期収載品等	204	243	△ 39	△ 16.1	803	25.4
海外医療用医薬品	126	126	+ 0	+ 0.4	509	24.8
ラジカヴァ	56	61	△ 5	△ 8.9	224	24.9
ロイヤリティ収入等	38	51	△ 13	△ 25.7	199	18.9

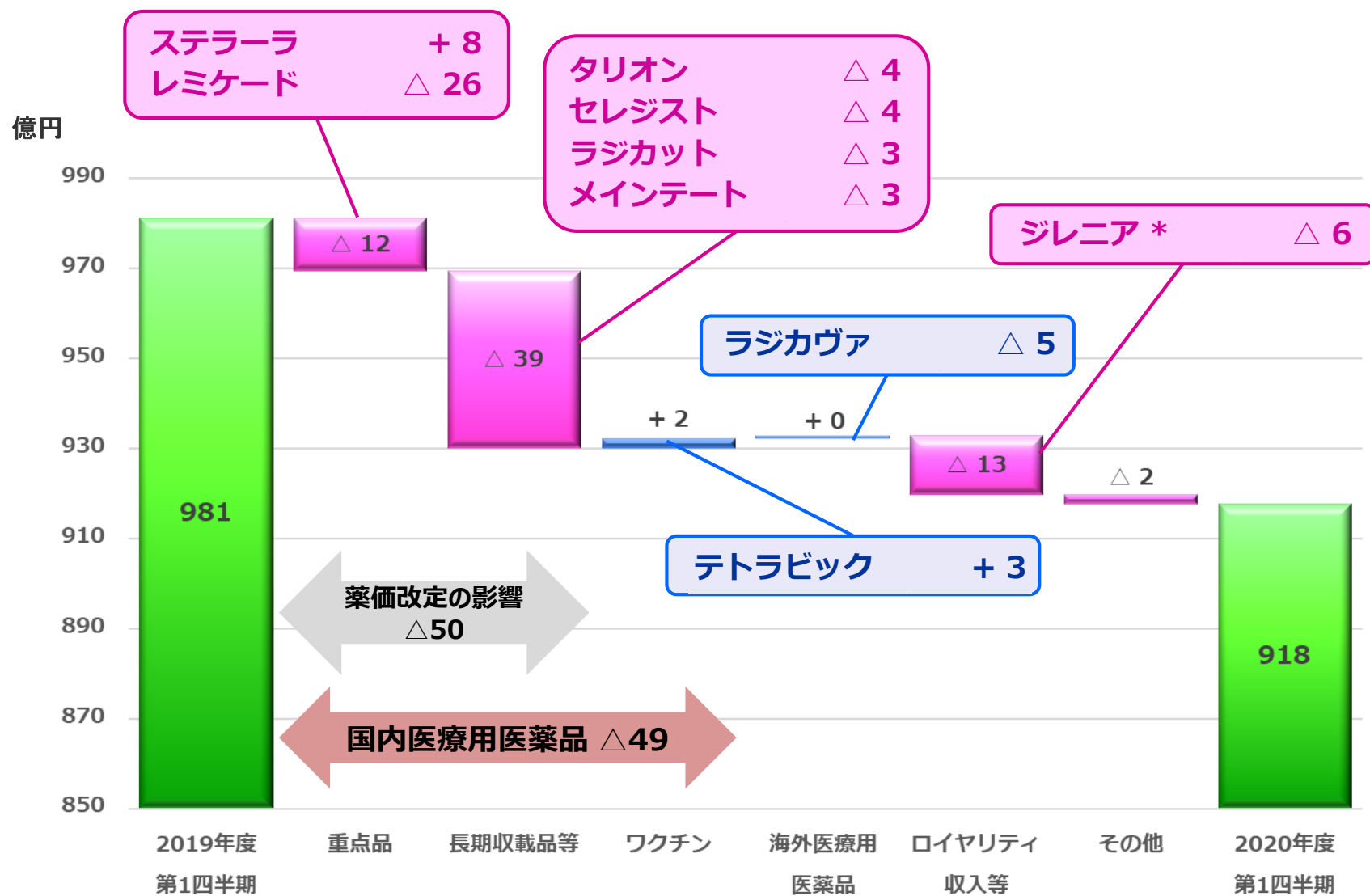
*2020年5月13日公表

国内医療用医薬品 重点品売上収益

	2020年度 第1四半期	前年同期比較			予想比較	
		2019年度 第1四半期	増減額	増減率	通期予想*	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
レミケード	119	144	△ 26	△ 17.7	448	26.6
シンポニー	107	105	+ 2	+ 1.4	423	25.2
ステラーラ	70	62	+ 8	+ 12.5	328	21.2
テネリア	41	47	△ 6	△ 12.7	149	27.5
カナグル	25	22	+ 4	+ 17.3	92	27.7
カナリア	25	22	+ 3	+ 15.3	93	27.2
レクサプロ	39	39	△ 0	△ 0.6	146	26.5
ルパフィン	17	13	+ 4	+ 33.1	102	16.2
イムセラ	11	11	△ 0	△ 4.2	41	26.5
重点品合計	453	465	△ 12	△ 2.5	1,823	24.9
インフルエンザワクチン	△ 0	△ 0	△ 0	-	122	△ 0.3
テトラビック	27	24	+ 3	+ 12.9	113	23.8
ミールビック	19	19	△ 0	△ 0.4	64	29.4
ジェービックV	14	15	△ 1	△ 4.1	53	27.1
水痘ワクチン	13	13	△ 0	△ 2.1	48	26.1
ワクチン合計	75	73	+ 2	+ 3.0	410	18.3
重点品・ワクチン合計	528	538	△ 10	△ 1.8	2,233	23.7

*2020年5月13日公表

売上収益の増減



* 仲裁手続き中により、一部売上収益の認識を行わないことによる減収を含む

主な開発パイプライン

2020年度 第1四半期トピックス

グローバル開発品

治験コード	適応症	開発段階	進捗状況
MT-1186	筋萎縮性側索硬化症：ALS	P3	<ul style="list-style-type: none"> グローバルP3試験（長期安全性試験）実施中 新型コロナウイルス感染症等の影響により、上市年度が2022年度になる見込み
ND0612	パーキンソン病	P3	<ul style="list-style-type: none"> グローバルP3試験（BouNDless試験）実施中 新型コロナウイルス感染症等による開発計画への影響を精査中
MT-7117	赤芽球性プロトポルフィリン症 X連鎖性プロトポルフィリン症	P3	<ul style="list-style-type: none"> 6月にグローバルP3試験を開始 FDAよりオーファンドラッグ指定を6月に取得
MT-2766	新型コロナウイルス感染症予防 (植物由来VLP*ワクチン)	P1	<ul style="list-style-type: none"> 非臨床試験で良好な結果を取得 グラクソ・スミスクライン社およびダイナバクス社のアジュバント利用に関して、各社との協業契約を7月に発表 7月にP1試験を開始

*VLP (Virus-Like Particle) : ウイルス様粒子

国内 後期開発品

MT-6548	腎性貧血	承認	<ul style="list-style-type: none"> 6月に国内承認を取得。製品名：バフセオ
MT-0551	視神経脊髄炎スペクトラム障害： NMOSD	申請	<ul style="list-style-type: none"> 6月に国内申請を実施

2020年6月に国内での製造販売承認を取得

作用機序	低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素（HIF-PH）阻害剤
オリジン	アケビア社（米国）
開発ステージ	承認取得
適応症	腎性貧血
特長	<ul style="list-style-type: none">• 1日1回服用の経口剤• 生理的範囲での内因性エリスロポエチン産生を促すことによる貧血改善効果• 透析期と保存期の腎性貧血に使用可能

国内 糖尿病領域と腎領域の架け橋をめざして

密接に関わる糖尿病と腎臓病に向き合い、
最適な治療提案を通じて糖尿病・腎領域疾患のベストパートナーをめざす

糖尿病領域

カナグル

カナリア

テネリア

腎領域

カナグル(糖尿病性腎症)
2023年度 効能追加予定

バフセオ(腎性貧血)
2020年6月 国内承認取得

クレメジン

2019年10月 糖尿病・腎エリアマネジャーを全国に配置

2020年 4月 糖尿病・腎領域部を設立

2020年 5月 バフセオについて、扶桑薬品工業との透析領域における
コプロモーション契約を締結

国内後期開発品 MT-0551（一般名：イネビルズマブ）

2020年6月に国内申請を実施

作用機序	ヒト化抗CD19モノクローナル抗体製剤
オリジン	ビエラ・バイオ社（米国）
開発ステージ	国内申請中（2020年6月） （米国：ビエラ・バイオ社が2020年6月に承認を取得）
適応症	視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD）： <ul style="list-style-type: none">• 重度の再発を繰り返し致命的となり得る中枢神経系の自己免疫疾患• 眼の痛みや失明、重度の筋力低下、麻痺、しびれ、腸や膀胱の機能低下、呼吸不全を引き起こす
患者数	[日本] 約4,000人
特長	<ul style="list-style-type: none">• 半年に1回の単剤投与*1• 再発抑制率73%*2に加え、EDSS*3 スコア悪化の抑制および入院回数、MRI*4 病巣数の抑制を示した• 2020年2月に、日本で希少疾病用医薬品に指定
今後の予定	2021年度上市予定

*1: 300 mg 静脈内投与（1日目、15日目、その後6ヶ月毎）

*2: N-MOmentum試験, N=230, intention-to-treat 解析

*3: Expanded Disability Status Scale（総合障害度）

*4: Magnetic Resonance Imaging（核磁気共鳴画像法）

2020年6月にグローバルP3試験を開始

作用機序	選択的メラノコルチン1受容体（MC1R）作動剤
オリジン	自社創製品
開発ステージ	Phase 3
適応症	赤芽球性プロトポルフィリン症（EPP）：光過敏症状が主。日光曝露後に疼痛を伴った発赤、腫脹、水疱・びらんを呈する遺伝性疾患 X連鎖性プロトポルフィリン症（XLP）：EPPと類似の症状を持つ遺伝性疾患
患者数	[日・米・欧計] EPP：約1万人 XLP：EPPよりも少ないとされている
特長	<ul style="list-style-type: none">経口投与可能な光過敏症発現予防薬MC1Rの活性化により、色素細胞におけるメラニン形成を促進し、紫外線による皮膚障害を抑制FDAより、2018年6月にEPPに対するファストトラック指定を取得、2020年6月にはオーファンドラッグ指定を取得
今後の予定	2021年度承認申請予定

新型コロナウイルス感染症の予防をめざすメディカゴ社のVLPワクチン

薬剤分類	植物由来VLPワクチン
オリジン	メディカゴ社（カナダ）
開発ステージ	Phase 1
適応症	新型コロナウイルス感染症の予防
P1試験概要	単剤、グラクソ・スミスクライン社のアジュバント*またはダイナバクス社のアジュバントを添加したワクチンを、3用量のグループに分けて、21日間隔で2回接種し、安全性と免疫原性を評価する
特長	<ul style="list-style-type: none">• VLP（ウイルス様粒子）は、ウイルスと同様の外部構造を持つため、ワクチンとして高い免疫獲得効果が期待できる• 植物由来技術による製造期間の短縮が可能• グラクソ・スミスクライン社およびダイナバクス社のアジュバント利用に関して、各社との協業契約を2020年7月に発表
今後の予定	2021年臨床試験終了目標

*アジュバント：医薬品の効果を高めるまたは補助する目的で併用される物質で、ワクチンと共に投与することで免疫原性を高めることが期待される

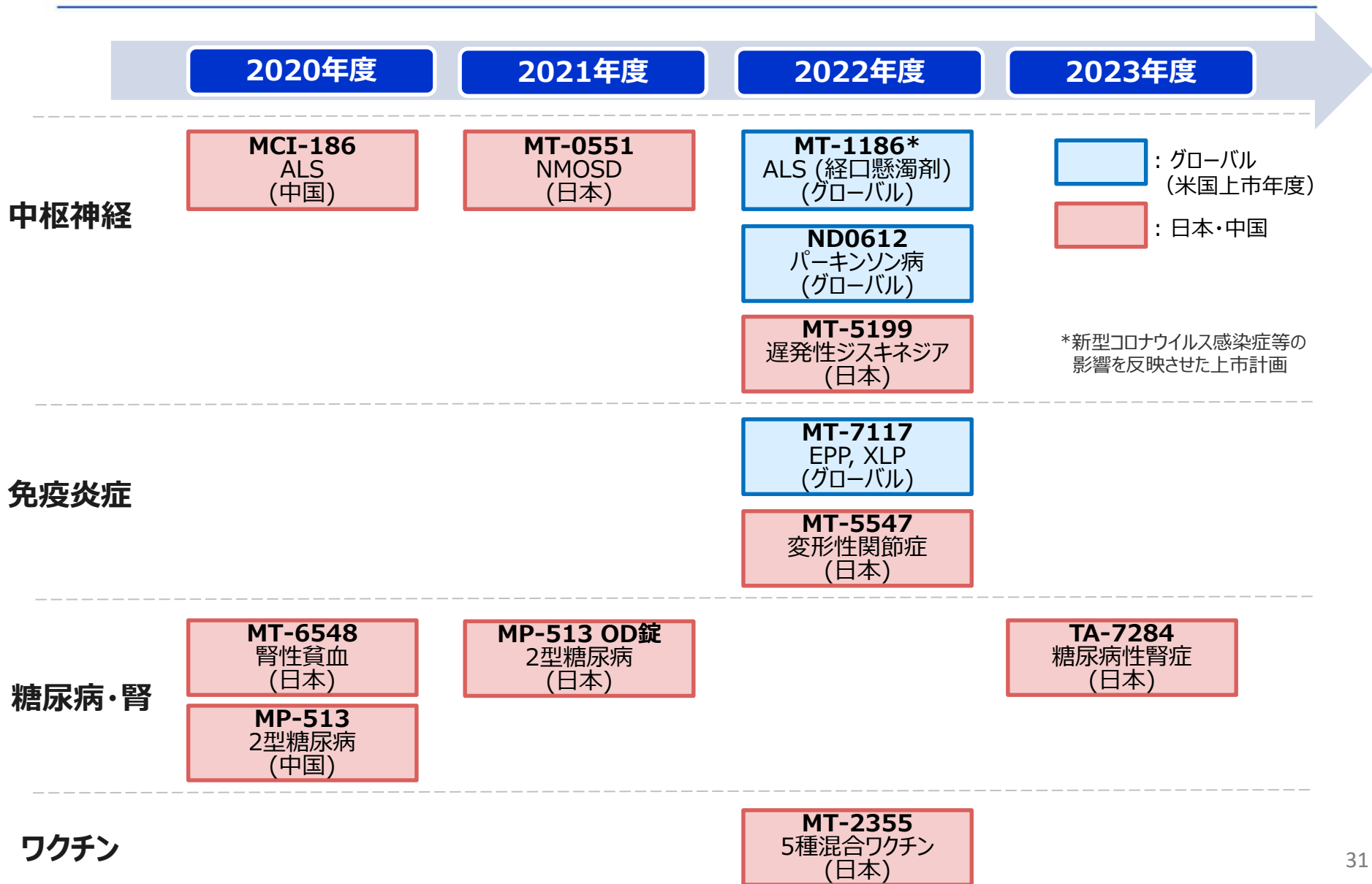
主な開発パイプライン 一覧

今回の進捗
2020年7月25日現在

重点領域	品目	開発地域	想定適応症	P1	P2	P3	申請	承認
中枢神経	MT-1186	グローバル	ALS/経口懸濁剤					
	ND0612	グローバル	パーキンソン病					
	MT-8554	グローバル	更年期に伴う血管運動神経症状			準備中		
	MT-3921	グローバル	脊髄損傷					
	MT-0551	日本	視神経脊髄炎スペクトラム障害					
	MT-5199	日本	遅発性ジスキネジア					
免疫炎症	MT-7117	グローバル	赤芽球性プロトポルフィリン症 X連鎖性プロトポルフィリン症					
	MT-2990	グローバル	子宮内膜症					
	MT-5547	日本	変形性関節症					
糖尿病・腎	MT-3995	グローバル	非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)					
	MT-6548	日本	腎性貧血					
	TA-7284	日本	糖尿病性腎症					
	MP-513	中国	2型糖尿病					
ワクチン	MT-2766	グローバル	新型コロナウイルス感染症の予防					
	MT-2355	日本	5種混合ワクチン*					

* 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防

主な開発パイプラインの上市計画



注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。

医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。

本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは情電・ディスプレイ関連製品、高機能成形材料、高機能ポリマー、MMA、石化製品、炭素製品、産業ガス、医薬品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。

但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。

以上